

資料



ひとりひとりに応じた支援を行うためのアンケート

生徒氏名

* このアンケートは、保護者が、可能な範囲で記入してください。

1 お子様が今までに次のような教育や支援を受けたことがありますか？ はい ・ いいえ

* 「はい」と答えた場合は、次の欄に記入してください。

- A ことばの教室
- B 適応指導教室
- C 国際教室
- D 別室（保健室）登校
- E 個別級・支援級
- F 通級
- G 通常級での介助員のサポート
- H フリースペース
- I 特別支援学校
- J その他（具体的に欄に記入してください）

今までに受けた支援 (記号でお答えください)	受けた場所 (学校名など)	受けた時期、または期間

2 お子様が今までに（今も）、次の相談機関、医療機関などを利用したことがありますか？ はい ・ いいえ

* 「はい」と答えた場合は、次の欄に記入してください。

- A 県立総合教育センター
- B 各市町村の教育相談機関
- C 小児療育センター
- D 児童相談所
- E 発達障害支援センター（かながわA）
- F 医療機関
- G 各市町村の福祉事務所（障害福祉課）
- H 特別支援学校
- I その他（具体的に欄に記入してください）

利用した機関 (記号でお答えください)	利用した時期、または期間

3 お子様が次の手帳をお持ちですか？ はい ・ いいえ

* 「はい」と答えた場合は、○をつけてください。

- () 身体障害者手帳 () 療育手帳（愛の手帳） () 精神障害者保健福祉手帳

4 お子様が発達障がいの診断を受けていますか？ はい ・ いいえ

* 「はい」と答えた場合は、診断名を記入してください。

--

5 お子様は個別の支援計画（支援シート）を持っていますか？ はい ・ いいえ

6 お子様について、次の質問についてお答えください。(該当するものに○を記入してください)

	質 問	よくある	ときどきある	ない	わからない
1	おも 思いつくままに話してしまうことがある。				
2	じぶん きも ことば つた へにがて 自分の気持ちを言葉で伝えることが苦手。				
3	あいて 相手によって、ことば たいと か づかいや態度を変えることがむずかしい。				
4	こべつ い きき と おおぜい なか 個別に言われると聞き取れるが、大勢の中ではむずかしい。				
5	ことば せつめい か 書いてある説明のほうがわかりやすい。				
6	いちど ふた いじょう こと い 一度に二つ以上の事を言われるとわからなくなってしまうことがある。				
7	わすれもの おお もの 忘れ物が多い。物をよくなってしまう。				
8	じぶん も もの せいりせいとん にがて 自分の持ち物の整理整頓が苦手。				
9	たいせつ やくそく すけ じゅー る わす 大切な約束やスケジュールを忘れてしまうことがある。				
10	ひとり ひとりでいることが多く、友達と一緒に過ごすことがあまりない。				
11	か 書くのがむずかしいと感じる "ひらがな" がある。				
12	ぶん か うつ 文を書き写すことがゆっくりになってしまう。				
13	かんたん けいさん あんざん にがて 簡単な計算を暗算ですることが苦手。				
14	よてい へんこう ふあん 予定の変更があると不安になったり、イライラしたりする。				
15	すわ じっと座っていることができない。もしもし、そわそわしてしまう。				
16	ころ 転んだり、ひと もの にぶつかったりすることがある。				
17	じょうだん 冗談がわからないことがある。				
18	かんじょうてき ついカッとなり感情的になってしまうことがある。				
19	やきゅう さっかー しゅうだんげーむ などのルールを理解することが苦手。				
20	う いじめを受けたことがある。				
21	じかん やくそくごと き 決められたことがまも られないとイライラする。				
22	き まちが 聞き間違いをすることがある。 (例「知った」を「行った」と聞き間違える)				
23	ぶんしやう よ こ ぎょう よ 文章を読むときに、語や行をとばして読んでしまったり、繰り返し読んでしまうことがある。				
24	よ にがて くべつ 読むことがやや苦手な "ひらがな" がある。または区別がむずかしいと感じる "ひらがな" がある。				
25	とくてい こと きおくりよく よ 特定の事について、記憶力が良い。 (例 電車の車体番号 時刻表、カレンダーなどは全部覚えている)				



たぶんか きょういく
多文化教育カード

* 担任記入

1年次	2年次	3年次	4年次

①	フリガナ		がっこう つか 学校で使いたい なまえ 名前に○をしてく ださい。
	せいと なまえ 生徒の名前		
②	フリガナ		
	つうしょう つか 通称を使っている場合 のなまえ の名前		
③	いま す 今、住んでいる所	() 市・町・村	* いずれかに○
④	こく せき 国 籍		
⑤	ざいりゅう しかく 在留資格(VISA)	かぞく たいざい 家族滞在	ていじゅうしゃ 定住者
⑥	かいがい 海外での生活経験に ついて	えいじゅうしゃ 永住者	とくべつ えいじゅうしゃ 特別永住者
⑦	ほご 母 語		その他()
⑧	ある ・ ない		* いずれかに○
⑨	* ある場合		
⑩	1 国名 ()		
⑪	2 時期 (年 月 ~ 年 月)		
⑫	3 日本に来た時の年齢 (歳)		
⑬	4 日本で学校に通うことになった学年 (小学 ・ 中学 年 月)		* 小学・中学どちらかに○
⑭	1 保護者の名前 (父:)		
⑮	(母:)		
⑯	2 保護者の母語は何語ですか? (語)		
⑰	3 面談の時、通訳は必要ですか? (必要 ・ いらぬ)		* どちらかに○
⑱	4 学校のお知らせにふりがなは必要ですか? (必要 ・ いらぬ)		* どちらかに○
⑳	がっこう 学校に「こうしてほし い」など、望むことがあ れば記入してください		

22 多文化教育カードの記入について

◆黒のペンまたはボールペンで記入してください。

このカードは外国籍の生徒や、外国につながりがある生徒のみなさんを、学校生活のさまざまな場面で支援をしていくために使用するものです。
次の情報の提供をお願いします。
正確で適切な把握をするために、外国につながりのある、なしにかかわらず、全員の方にご記入、ご提出されますようお願い申し上げます。

【記入上の注意】

下の①③④⑦⑧は、多文化教育カードの左の番号に対応したものです。

① 生徒の名前欄

・住民票（外国人の場合は在留カードや特別永住者証明書など）にあるとおりに

本名を正確に書いてください。

・フリガナもつけてください。

・ふだん、通称名を使用されている方は、「通称名を使っている場合」欄に記入してください。

※通称名を使用している方が、学校でどちらの名前を使用するかについては、希望するほうの名前の横に○をつけてください。

③ 国籍欄

生徒の国籍を記入してください。2つ国籍がある場合は、どちらも記入してください。

④ 在留資格 (VISA) 欄

あてはまるものに○をしてください。

⑦ 日本語が母語でない生徒の、保護者への質問欄

保護者への通訳や翻訳などの支援のための質問です。

保護者の方の母語が日本語でない場合、記入してください。

⑧ 備考欄

学校に「こうしてほしい」など、望むことがありましたら記入してください。



授業についてのアンケート

(6) 課程

- 全日制 定時制 通信制

(7) 年次

- 1年次 2年次 3年次 4年次

(8) 教科

- 国語 地歴公民 数学 理科 保健体育
 芸術 英語 家庭 その他

次のことを確認し、あなたが受けているこの授業について評価をしてください。このアンケートは、よりよい授業を行うためにみなさんの意見や感想を聞くものです。

(9) 授業構成

		評価			
		ほとんど当てはまらない	あまり当てはまらない	ほぼ当てはまる	かなり当てはまる
1	授業全体の流れが分かりやすく、見通しの持てる授業である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	次に行うことの指示が明確で分かりやすい授業である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(10) 授業環境

		評価			
		ほとんど当てはまらない	あまり当てはまらない	ほぼ当てはまる	かなり当てはまる
1	使用する教材・道具類の場所や、課題・レポートの提出場所等、分かりやすく整理されている授業である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	視覚情報(黒板の文字、プロジェクター、大型テレビ、掲示資料等)はとても見やすく示されている授業である。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(11) ICT利活用

		評価			
		ほとんど当てはまらない	あまり当てはまらない	ほぼ当てはまる	かなり当てはまる
1	ICT機器を利活用した授業は面白い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	図や写真、映像など黒板では表現できないものをプロジェクター等のICT機器を使って分かりやすい。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

ICT利活用の項目で、「かなり当てはまる」または「ほぼ当てはまる」と評価した人のみ当てはまるものに回答してください。

(12) 使用したICT機器は何ですか?(複数回答可)

- パソコン タブレット プロジェクター 大型テレビ スマートフォン その他

(13) ICTを利活用した授業はどんな内容でしたか?(複数回答可)

- 例示・提示 調べ学習 問題演習 振り返り その他

(14) その他何かあれば記入してください。



より良(よ)い学校(がっこう)生活(せいかつ)を送(おく)るためのアンケート

このアンケートは、みなさんの学校生活(がっこうせいかつ)や授業(じゅぎょう)での取(と)り組(く)みがより充実(じゅうじつ)することを目的(もくてき)に行(い)います。これはテストではありませんので、難(むず)しく考(かん)がえずに、素直(すなお)な気持(きもち)で答(こた)えてください。

1.あなたについて当(あ)てはまるものを選(えら)んでマークをぬりつぶしてください。

(1) あなたの性別は？(1つにマーク)

男 女

(2) あなたの所属している課程は？(1つにマーク)

定時制 通信制

(3) あなたの所属している年次は？(1つにマーク)

1年次 2年次 3年次 4年次 その他

(4) 2. あなたにとって高校卒業の資格は必要ですか。(1つにマーク)

はい どちらかというとはい どちらかというといいえ いいえ

(5) 3.学校(がっこう)生活(せいかつ)のどこに魅力(みりょく)がありますか、項目(こうもく)別(べつ)に答(こた)えてください。

	はい	どちらか という とはい	どちらか という いいえ	いいえ
1 (ア) 授業(じゅぎょう)を受(う)けることで、知(し)らないことが分(わ)かってくること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 (イ) 友(とも)だちとおしゃべりすること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 (ウ) 先生(せんせい)と話(はな)すこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 (エ) 部活動(ぶかつどう)で友達(ともだち)と過(す)ごすこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 (オ) 食堂(しょくどう)やHRや中庭(なかにわ)で友達(ともだち)と食事(しょくじ)をいっしょにすること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 (カ) 図書館(としょかん)やラウンジで本(ほん)を読(よ)んだり、見(み)たりしてすごせること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(6) 4.あなたの授業(じゅぎょう)中(ちゅう)(面接(めんせつ))の様子(ようす)や学習(がくしゅう)はどうか。項目(こうもく)別(べつ)に教(おし)えてください。

	はい	どちらか という とはい	どちらか という いいえ	いいえ
1 (ア) 先生(せんせい)の話(はなし)を真剣(しんけん)に聞(き)いている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 (イ) 近(ちか)くの人(ひと)とおしゃべりをしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 (ウ) 先生(せんせい)の話(はなし)を聞(き)こうとしても、ポーっとして集中(しゅうちゅう)できない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 (エ) 授業(じゅぎょう)と関係(かんけい)ないことを考(かん)がえてしまうことがよくある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 (オ) 黒板(こくばん)に書(か)かれた内容(ないよう)を正(ただ)しく書き写(かきうつ)している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 (カ) 作文(さくぶん)や小論文(しょうろんぶん)を書(か)くときに、何(なに)をすればよいかわからないことがよくある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 (キ) 先生(せんせい)の話(はなし)のスピードが速(はや)いと感(かん)じたり、言葉(ことば)の意味(いみ)がわからないことがよくある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 (ク) 先生(せんせい)の言(い)っていることを聞(き)き間違(まちが)えることがある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 (ケ) 先生(せんせい)から具体(ぐたい)的(てき)に指示(しじ)されないと、何(なに)をしてよいか分(わ)からないことがよくある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

★マークのしかた



		はい	どちらか という とはい	どちらか という いいえ	いいえ
10	(コ) 先生(せんせい)に聞(き)かれたことを頭(あたま)の中(なか)でまとめてから発表(はっぴょう)することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11	(サ) 先生(せんせい)が話(はな)している途中(とちゅう)で、質問(しつもん)したり発言(はつげん)したりすることがよくある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12	(シ) 教科書(きょうかしょ)やプリントを読(よ)むとき、漢字(かんじ)や問題(もんだい)文(ぶん)を読(よ)み間違(まちが)えることがよくある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13	(ス) 教科書(きょうかしょ)や黒板(こくばん)を見(み)るとき、どの部分(ぶぶん)を見(み)たらよいか戸惑(とまど)ったり、黒板(こくばん)に書(か)かれた文字(もじ)が見(み)えにくいことがある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
14	(セ) 授業(じゅぎょう)中(ちゅう)、友達(ともだち)の声(こえ)や動(うご)き、外(そと)の様子(ようす)などで気(き)が散(ち)ることがよくある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15	(ソ) プリントをなくしたり、忘れ物(わすれもの)をすることがよくある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16	(タ) 提出(ていしゅつ)物(ぶつ)を決(き)められた期限(きげん)内(ない)に提出(ていしゅつ)することができる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(7) (チ) (ア) から (タ) の質問(しつもん)以外(いがい)で学習(がくしゅう)について困(こま)っていることがあれば書(か)いてください。

5.スマートフォン・携帯(けいたい)電話(でんわ)・インターネットについて、項目(こうもく)別(べつ)に答(こた)えてください。

(8) (ア) あなたはどのような情報(じょうほう)端末(たんまつ)をもっていますか。もっている物(もの)全(すべ)てのマークをぬりつぶしてください。(複数(ふくすう)回答(こたへ)可(か))

- 携帯電話(けいたいでんわ)
 スマートフォン
 タブレット
 ノートまたはデスクトップPC
 もっていない

(9)

		はい	どちらか という はい	どちらか という いいえ	いいえ
1	(イ) あなたはネットに夢中(むちゅう)になっていると感(かん)じていますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	(ウ) あなたは、嫌(いや)な気持(きもち)や不安(ふあん)、落ち込(おちこ)みから逃(に)げるためにネットを使(つか)うことがありますか?	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(10) (エ) 平日(へいじつ)と休日(きゅうじつ)のネット使用(しよう)時間(じかん)について質問(しつもん)します。平均(へいきん)の時間(じかん)を考(かんが)えて①～⑥までの番号(ばんごう)の1つをマークしてください。

		まったく しない	1時間(じかん) 未(み)満(まん)	1時間(じかん)以上 (いじょう)2時間(じかん) 未(み)満(まん)	2時間(じかん)以上 (いじょう)3時間(じかん) 未(み)満(まん)	3時間(じかん)以上 (いじょう)5時間(じかん) 未(み)満(まん)	5時間(じかん) 以上(いじょう)
1	平日(へいじつ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	休日(きゅうじつ)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(11) (オ) あなたはネットにアクセスして日頃(ひごろ)何(なに)をしていますか? 当(あ)てはまるもの全(すべ)てにマークしてください。

- 情報(じょうほう)やニュー
スの検索(けんさく)閲覧(えつらん)
 動画(どうが)の閲覧(えつらん)
 メール
 フェイスブックやツイッター等のソ
シャルネットワークサービ
ス(SNS)の利用(りよう)
 LINEやSkype等(とう)の無
料(むりょう)通話(つうわ)
アプリ
 チャット
 オンラインゲーム

以上(いじょう)でアンケートは終了(しゅうりょう)です。ご協力(きょうりょく)ありがとうございました。

気になる生徒のアンケート

常勤職員は、ポータルサイトから授業中や学校生活の中で生徒に気になる点を入力してもらった。

〈参考：入力シート〉 自分の担当している講座から、または全校生徒の中から生徒を選択

年次	クラス	氏名	性	項目	気になる点
15	15G	厚木 清	男	Ⅱ 行動面	授業中に座っていられず教室から出て行ってしまふ。
15	15G	厚木 南	女	Ⅲ 対人関係・こだわり	字義通りにとらえ、「これを見て」と言ったら指し棒を見て、地図を見ていない。

非常勤講師は、紙に記入し提出してもらった。

定時制 講師の先生へ

生徒理解と情報共有のため、別紙内容を実施したいと思います。お忙しいところ申し訳ありませんが気になる生徒について7月24日(金)までにご記入いただき、直接〇〇までお渡してください。

お名前 ()

クラス	氏名	項目	気になる点
		<input type="checkbox"/> 学習面 <input type="checkbox"/> 不注意・衝動・多動 <input type="checkbox"/> 対人関係・こだわり	
		<input type="checkbox"/> 学習面 <input type="checkbox"/> 不注意・衝動・多動 <input type="checkbox"/> 対人関係・こだわり	

生徒・保護者

- ・入学時の適応
- ・学習の困難
- ・対人関係の困難
- ・不登校・いじめ
- ・発達障害・非行
- ・心身の疾患 など

相談依頼



担任・チューター・教科担当・年次会など

生徒の実態把握

- ・保護者アンケート
- ・生徒アンケート
- ・教員の気づき
- ・中学校からの情報

教育相談コーディネーター

情報集約

- ・年次会における情報の吸い上げ

担任・チューター・教科担当

コーディネーター（年次担当者）

コーディネーターリーダー

ケース会議

個別支援の検討

（構成員は生徒の支援の必要に応じて対応）

- ・支援チームによる情報整理後、立てた方針に向かって具体的な方策を考える。
- ・方針、方策を作り、役割分担を調整する。
- ・個別支援計画の策定を行う。

情報共有

ケース会議まとめ



ケース会議の要請

生活支援グループ

情報管理の一元化

- ・心身の健康状態
- ・保護者、生徒からの支援依頼（今まで受けていた支援）
- ・学習状況、学校生活の様子

<支援チーム>

教育相談コーディネーター

（＊各学年に設置）

生活支援Gリーダー

養護教諭・SC・SSW・管理職

情報を収集し、学校全体で支援が必要な生徒への方策を考え、ケース会議につなぐ。

生徒情報共有会・職員会議

生徒情報の共有、共通理解

- ・集約した生徒情報の共有、共通理解。

校内体制の構築による支援

- 1 授業のユニバーサルデザイン化
- 2 多様なニーズに応える学習支援
- 3 環境整備の工夫
- 4 SC、SSWによる相談体制の確立

連携
協力

外部機関と連携して行う支援

- 1 医療との連携支援
- 2 就労に向けての支援
- 3 外国につながる生徒への支援
- 4 学習支援
- 5 その他外部機関との連携支援

生徒の変化や支援による効果を評価し、必要な修正を行う。

困っていることに気付いていない（発達課題があると思われる）生徒・保護者への

「専門医による相談会」への相談の勧め方

1 なぜ、専門機関に相談や繋がることなく高校生年齢になってしまったのか

- ・家では困っていない。小さいころからこんな子だった。
- ・小中学校時代専門機関での相談を勧められたが、行かなかった。
障害者扱いしないでほしい。
- ・学校の困り感がなかった。→気付かれなかった。
おとなしく周囲に迷惑をかけていない。
学習面は無難に過ごしていた。
- ・不登校状態があり、見過ごされていた。
- ・受診したことはあるが、現在は中断している。
- ・保護者は気になっていたが、どこに相談すればいいのかわからなかった。
- ・保護者自身に問題（精神的、多忙、無関心、コミュニケーション能力）がある。



2 本人・保護者の自尊心を傷つけないように、相談を勧めるには

- ・「学校が困っている」のではなく、「本人が困っている」という姿勢で話をする。
- ・「できること」と「できないことやうまくいかないこと」を、本人や保護者と面談をしながら一つひとつ紙に書いて、積み重ねて示していく。
- ・「高校を卒業した後のイメージや進路（出口）」を考えさせ、そのイメージになるためにはどうすればいいかを考えさせる。
→ 今の状態（うまく段取りができない、集中力が続かない）では難しいことを、紙に書きながら示して考えさせる。
(コツコツと取り組み卒業はできそうだが、その先が具体的に考えられない生徒。
アルバイトに受からない、始めても続かない生徒。)
- ・受診をすることの心配や不安を聞いてみる。相手の言うことの中に答えがある場合がある。

定時制の場合、生徒に案内文書を配付するため保護者の手元に届いていない場合があります。相談が必要と思われる生徒の保護者には、担任が保護者と連絡を取る機会や保護者が来校される機会に勧めてください。

3 具体的な言葉かけ

- ・〇〇はとても得意なのに、△△は苦手（もう一歩）だよね。同じように一生懸命やっているのにね。
△△で注意されることが多いけど、自分でも直そうとっていて、一生懸命やっているのにうまくできないんだよね。
→ 一生懸命やっているのに、うまくいかないのはあなたのせいではないかもしれないよ。
- ・自分の得意な部分と苦手な部分（こうなったらいいなと思う部分）がはっきりするといいよね。
苦手な部分（こうなったらいいなと思う部分）がはっきりすると、先生たちがその部分をどういう風に助けてあげたらいいか（支援方法）わかるから、学校生活も過ごしやすくなると思うよ。
- ・得意不得意がわかると、将来の仕事を具体的に考えていけるね。得意な部分を生かした仕事を一緒に考えよう。苦手な分野の仕事を選ぶと、仕事中に失敗することが多くて注意されることも多くて辛いかもしれないね。
- ・病院に予約して行くのは大変だけど、今度、学校に専門のお医者さんが来て相談に乗ってくれるよ。なぜ今のようなことが起こっているかわかるかもしれないよ。
自分のことを知ることができる機会だから相談してみない？
(抵抗があるような場合、まずSCへの相談を勧める。)



注意

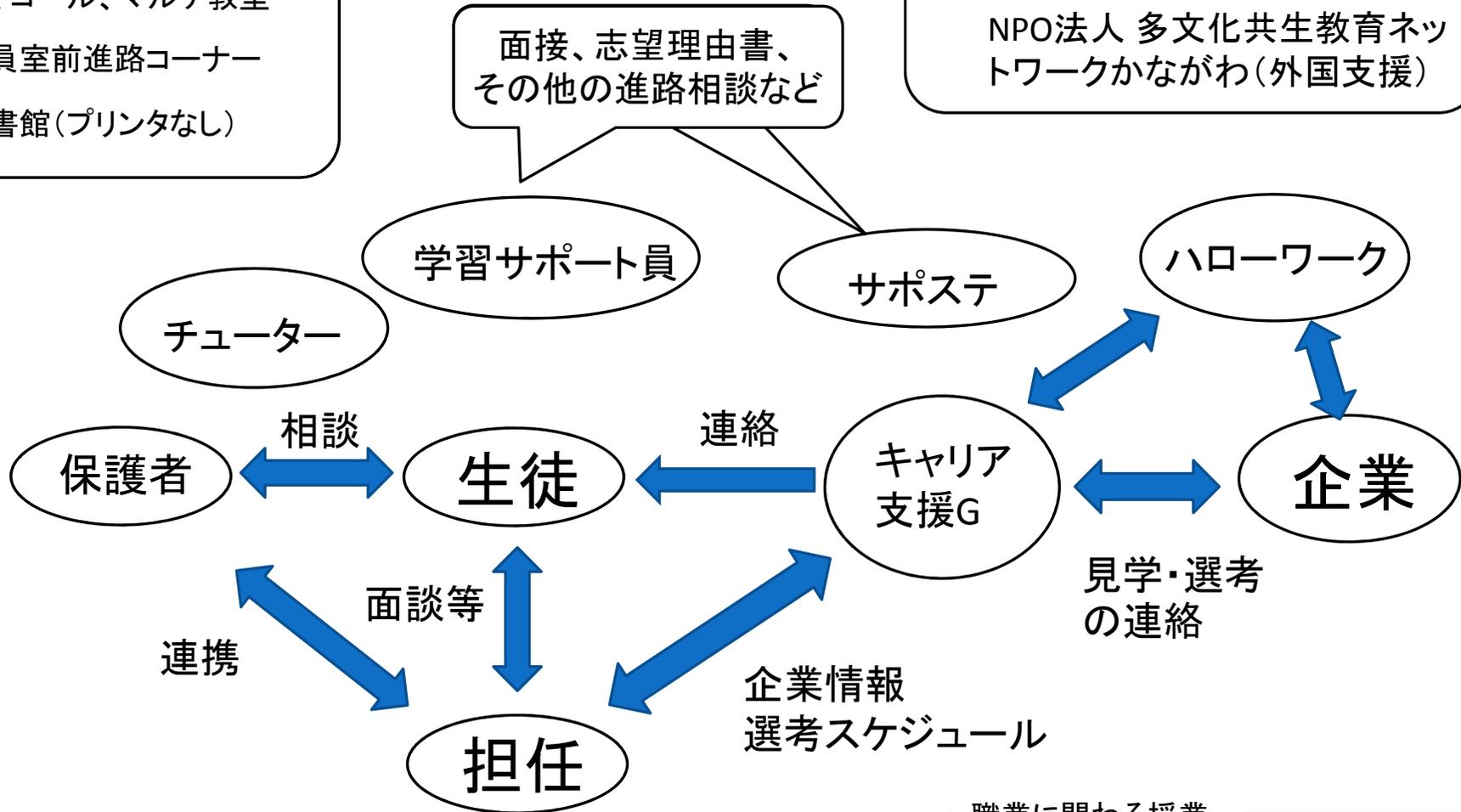
- 1 専門医による相談会は、保護者・生徒の同席が原則です。*20歳以上の場合は要相談
「保護者だけ」はあっても（引きこもっている、本人が嫌がっている等）、「生徒だけ」はありません。幼少期からの様子が情報として必要です。また、相談後、改めて受診や検査を勧められることがあります。
- 2 専門医による相談会は、学校の教職員（原則、医療連携グループ担当）が同席します。
将来に向けてのアドバイスや学校での必要な支援を一緒に聞くため、後日、関係の先生たちが情報を共有することで今後の支援・指導に役立てます。
同席した教員は、医師から学校生活の様子を尋ねられたときに答えます。
(事前に担任の先生には、学習の状況や学校生活の様子を聞きに行きます。)

生徒・保護者によって対応は変わります。この資料は参考として活用してください。

平成29年度就職活動サポート体制

求人票検索
PC、コール、マルチ教室
職員室前進路コーナー
図書館(プリンタなし)

特定の生徒の支援
NPO法人フェアスタートサポート
(貧困家庭支援)
NPO法人 多文化共生教育ネット
ワークかながわ(外国支援)



職業に関わる授業
キャリアデザイン
キャリアサポート
職業一般

総合的な学習の時間「合同企業説明会」実施後のまとめ

就業支援 G

■企業側の感想

- ・生徒さんと直接、会社の説明をできる機会は貴重です。また、ハードルを高くせず、幾つかの会社の話を聴く機会は会社、生徒共に大事だと思います。
- ・企業研究をして、ミスマッチを減らし、適した仕事を見つけてほしいと思います。そのためには、色々な業界について知って欲しいです。
- ・思っていた以上に生徒さんとお話しができてよかったです。積極的に質問もいただいたり、将来に対して希望があることが素晴らしいと思いました。

などの意見があった。また、どの企業も次回の案内を希望しており、企業側にとっては概ね意義を感じられた催しになったと思われる。

ただし、会の形式については、「生徒が自由に回る方式だと企業側の待ち時間が長くなり、厳しい」という意見もあり、今後の検討が必要だと思われる。また、月末が忙しい企業もあり、実施時期は中旬が望ましいとの意見もあった。

下図は参加企業での業務に求められる力の表である。ここからは、企業が異なれば、必要とされるものが大きく異なることも分かったが、同時に、コミュニケーション能力、器用さ、立ち仕事、確実なチェックのように比較的多くの企業が求める要因があることも読み取れる。ミスマッチを防ぐ努力を続けるとともに、多くの企業で必要とされる力の育成が必要になると思われる。

企業側の業務で求められる力（参加企業へのアンケートより）

	コミュニケーション	事務作業	PC操作	立ち仕事	力仕事	手先の器用さ	単調さへの根気	出張・外回り	夜勤、交代勤務	車の運転	締切の確実性	チェック作業	アイデア・創造性
自動販売機の補充	4	4	3	5	4	4	5	2	2	5	4	4	2
電気配線	5	3	4	4	3	3	3	3	1	2	3	4	4
ゴム・スポンジの加工	4	3	3	4	4	3	2	2	2	2	3	4	3
お弁当の製造	5	2	3	5	3	3	3	2	4	2	4	3	2
歯科助手	5	3	3	5	2	3	4	1	1	1	5	4	4
自動車整備	3	3	3	2	3	3	3	3	1	5	4	4	3
空調の製造	4	1	1	5	3	3	5	1	1	1	1	1	1
組立	5	3	3	4	3	4	4	2	4	3	4	4	3
美容師	5	1	1	5	1	3	1	1	1	1	5	5	5
介護職	5	3	2	5	4	3	1	2	4	3	4	4	3
足場の建設解体	5	2	2	5	5	3	5	3	1	5	3	5	3
寿司の調理	3	3	2	3	3	3	3	2	2	2	3	3	3
発電所のメンテナンス	4	3	3	5	5	5	3	5	2	5	5	4	4
リラクゼーション	5	2	1	5	2	3	3	2	2	2	3	3	4

■生徒の感想

感想を書く時間を明示的に取らず、話を聞く合間に書いてもらう形にしたため回答が少なかったが、

- ・1社がらしかお話を聴くことができませんでしたが、とても丁寧でわかりやすく、また優しく対応してくださって、楽しくお話を聴くことができました。
- ・すごく参考になった。美容師の話を聞いてすごく良かった。ぜひ見学に行きたい。
- ・まずは高校を卒業しないとない。
- ・色々聞いて仕事といってもやることも色々あるのだとあらためて思いました。
- ・時間的にひとつの企業しか聞けませんでした。自分の興味のある企業に聞けたしさらに興味がわいてきました。
- ・行ってみたいところが見つかった。魚が好きなので、寿司関係のところに行った（お父さんが釣りが好きで魚の種類がわかるから結構しゃべれた）。

などの感想があり、個別の企業に対するコメントも含めて「知らなかったことが知れた」という意見が多く、「見学したい」「この企業に行きたい」というコメントも複数あった。企業見学に対する敷居を下げることもできたのではないかと思われる。

■生徒への効果

◇参加者 定時制2～4年次約70名

※全日制、通信制にも参加を呼びかけたが参加者はいなかった。

◇参加企業へのその後のアプローチ

- ・見学 6件
- ・インターンシップ 3件
- ・応募希望 3件
- ・採用内定 2件

◇今年度の就職活動への取り組みの変化

今年度の見学件数が10月16日時点で92件あり、昨年度の3月までの見学件数82件をすでに上回っている。また、第一回の推薦会議で就職希望を出した生徒の人数も昨年の7名から17名へと大きく増加した。これがすべて説明会の効果だとは言い切れないが、一定の成果はあったと思われる。また、採用内定を決めた2名の生徒は他の企業の見学にも訪れており、今回の合同説明会が視野を狭めることはなかったと考えられる。ただ、学校の授業の一環として行うことで特定の企業に親近感を持ちすぎてしまう可能性は常にあるため、十分注意をした上で今後の実施を検討したい。

かなテクカレッジ西部校（県立西部総合職業技術校）見学会 実施報告

- 1) 日時：平成29(2017)年6月23日(金)14:00~16:00
- 2) 参加者：生徒3名（通信制、定時制2名キャンセル）保護者1名（通信制）
職員2名（定時制、通信制）SSW1名、若者サポーター相談員2名
合計9名参加
- 3) 見学会感想
 - *今回、沢山のコースを見学させてもらいすばらしい所だと感じました。学費が安いので自分でも払える金額なので他の所となやむ事があります。(生徒)
 - *迷っていたので、体験ができて色々参考になりました。1コース、1コースくわしく説明されたので良かったです。(生徒)
 - *実習している姿をみられた事がよかったです。(保護者)
 - *施設や訓練内容を見ることができてよかったです。板金の体験もできてよかったです。
 - *環境、広さ、種類（コース）どれをとってもよい所だと感じました。(SSW)
 - *説明担当課長が各コースの概要を要領よく説明していただきわかりやすかったです。ありがとうございました。[相談員]
 - *座学と実習の全体授業と効果に関心しました。選択コースで入校時にコースを決めていない方には、好都合で柔軟な対応に関心しました。若者たちにカレッジをPRしたい。[相談員]
- 4) 進路についてもっと知りたい情報
 - *今、一番進路でなやんでいる時期なので今回のような体験をさせてもらいたい。



課題分析シート A面

* :就労アセスメントは支援専門員の個人的な考え方や手法によらないように留意する。
 * :アセスメントについては、この「課題分析項目」を参考に判断する。

I. コミュニケーション面における評価項目

評価記号 : 良い ◎ / ふつう ○ / 課題 △ ↓

No	項目	細目	具体的な評価内容	評価
1	対人スキル	あいさつ	自分からあいさつすることができる	
2	対人スキル	返事	返事ができる	
3	謝意	謝罪	自分から、失敗を謝ることができる	
4	謝意	お礼	自分から、相手に感謝の気持ちを伝えることができる	
5	報告等	報告・連絡	自分から、報告・連絡できる	
6	報告等	質問・相談	自分から、質問・相談できる	
7	意思表示	意思伝達	自分から、好き嫌いや同意不同意を伝えることができる	
8	意思表示	意思説明	自分から、好き嫌いや同意不同意を具体的に説明できる	
9				

II. 就労面における評価項目

評価記号 : 良い ◎ / ふつう ○ / 課題 △ ↓

No	項目	細目	具体的な評価内容	評価
1	安全管理	状況判断①	危険を認知し、回避することができる	
2	安全管理	状況判断②	周りの人に危険がないよう、配慮して作業できる	
3	理解力	指示の理解	口頭での指示が理解できる	
4	理解力	スケジュールの理解	一日のスケジュールが理解できる	
5	遂行力	集中力	集中して作業に取り組める	
6	遂行力	忍耐力	途中で投げ出さず、作業に取り組める	
7	遂行力	判断力	自分で状況判断しながら作業ができる	
8	自己統制力	感情のコントロール	無視・反発・拒否せず、指示や注意を受け入れられる	
9	自己統制力	時間の厳守	始業・就業時間を守って作業できる	
10	作業スキル	緻密性	細かい作業ができる	
11	作業スキル	正確性	正確な作業ができる	
12	作業スキル	効率性	工夫しながら作業ができる	
13	作業スキル	生産性	慣れると作業スピードが上がる	
14	モチベーション	意欲①	働く理由、動機がはっきりしている、働きたいと思っている	
15	モチベーション	意欲②	積極的に、作業に取り組むことができる	
16	モチベーション	意欲③	一日に6時間以上働ける	
17				

課題分析シート B面

* :就労アセスメントは支援専門員の個人的な考え方や手法によらないように留意する。
 * :アセスメントについては、この「課題分析項目」を参考に判断する。

Ⅲ. 生活面における評価項目

評価記号 : 良い ◎ / ふつう ○ / 課題 △ ↓

No	項目	細目	具体的な評価内容	評価
1	マナー	言葉遣い	丁寧な言葉が使える	
2	マナー	礼儀作法	ドアの開閉、仕事の開始・終了等状況に応じた対応ができる	
3	生活習慣	生活リズム	起床・就寝時間が決まっている	
4	生活習慣	身だしなみ①	清潔な服装ができる。	
5	生活習慣	身だしなみ②	髭・髪型、手洗い、爪等職場環境に応じたことができている	
6	生活習慣	身だしなみ③	タオル・着替え等職場環境に応じたことができている	
7	生活習慣	金銭管理①	自分で買物ができる	
8	生活習慣	金銭管理②	無駄使いをしない	
9	生活習慣	健康管理①	体調の不良を訴えることができる	
10	生活習慣	健康管理②	自ら進んで、通院服薬等を行うことができる	
11				

Ⅳ. 自己理解・自己管理面における評価項目(総合的見地)

評価記号 : 良い ◎ / ふつう ○ / 課題 △ ↓

No	項目	細目	具体的な評価内容	評価
1	自己理解	作業能力の認知	自分の作業能力を理解している	
2	自己理解	自己課題の認知	自分の課題や症状を、理解している	
3	情緒	情緒	情緒が安定している	
4	ストレス	耐ストレス性	ストレスに強い	
5	プレッシャー	耐プレッシャー	プレッシャーに強い	
6				

V. 総合的に配慮・留意すべき課題

Blank area for notes regarding comprehensive considerations and issues to be noted.

課題分析シート A面

* :就労アセスメントは支援専門員の個人的な考え方や手法によらないように留意する。
 * :アセスメントについては、この「課題分析項目」を参考に判断する。

I. コミュニケーション面における評価項目

評価記号 : 良い ◎ / ふつう ○ / 課題 △ ↓

No	項目	細目	具体的な評価内容	評価
1	対人スキル	あいさつ	自分からあいさつすることができる	
2	対人スキル	返事	返事ができる	
3	謝意	謝罪	自分から、失敗を謝ることができる	
4	謝意	お礼	自分から、相手に感謝の気持ちを伝えることができる	
5	報告等	報告・連絡	自分から、報告・連絡できる	
6	報告等	質問・相談	自分から、質問・相談できる	
7	意思表示	意思伝達	自分から、好き嫌いや同意不同意を伝えることができる	
8	意思表示	意思説明	自分から、好き嫌いや同意不同意を具体的に説明できる	
9				

II. 就労面における評価項目

評価記号 : 良い ◎ / ふつう ○ / 課題 △ ↓

No	項目	細目	具体的な評価内容	評価
1	安全管理	状況判断①	危険を認知し、回避することができる	
2	安全管理	状況判断②	周りの人に危険がないよう、配慮して作業できる	
3	理解力	指示の理解	口頭での指示が理解できる	
4	理解力	スケジュールの理解	一日のスケジュールが理解できる	
5	遂行力	集中力	集中して作業に取り組める	
6	遂行力	忍耐力	途中で投げ出さず、作業に取り組める	
7	遂行力	判断力	自分で状況判断しながら作業ができる	
8	自己統制力	感情のコントロール	無視・反発・拒否せず、指示や注意を受け入れられる	
9	自己統制力	時間の厳守	始業・就業時間を守って作業できる	
10	作業スキル	緻密性	細かい作業ができる	
11	作業スキル	正確性	正確な作業ができる	
12	作業スキル	効率性	工夫しながら作業ができる	
13	作業スキル	生産性	慣れると作業スピードが上がる	
14	モチベーション	意欲①	働く理由、動機がはっきりしている、働きたいと思っている	
15	モチベーション	意欲②	積極的に、作業に取り組むことができる	
16	モチベーション	意欲③	一日に6時間以上働ける	
17				

課題分析シート B面

* : 就労アセスメントは支援専門員の個人的な考え方や手法によらないように留意する。
 * : アセスメントについては、この「課題分析項目」を参考に判断する。

Ⅲ. 生活面における評価項目

評価記号 : 良い ◎ / ふつう ○ / 課題 △ ↓

No	項目	細目	具体的な評価内容	評価
1	マナー	言葉遣い	丁寧な言葉が使える	
2	マナー	礼儀作法	ドアの開閉、仕事の開始・終了等状況に応じた対応ができる	
3	生活習慣	生活リズム	起床・就寝時間が決まっている	
4	生活習慣	身だしなみ①	清潔な服装ができる。	
5	生活習慣	身だしなみ②	髭・髪型、手洗い、爪等職場環境に応じたことができている	
6	生活習慣	身だしなみ③	タオル・着替え等職場環境に応じたことができている	
7	生活習慣	金銭管理①	自分で買物ができる	
8	生活習慣	金銭管理②	無駄使いをしない	
9	生活習慣	健康管理①	体調の不良を訴えることができる	
10	生活習慣	健康管理②	自ら進んで、通院服薬等を行うことができる	
11				

Ⅳ. 自己理解・自己管理面における評価項目(総合的見地)

評価記号 : 良い ◎ / ふつう ○ / 課題 △ ↓

No	項目	細目	具体的な評価内容	評価
1	自己理解	作業能力の認知	自分の作業能力を理解している	
2	自己理解	自己課題の認知	自分の課題や症状を、理解している	
3	情緒	情緒	情緒が安定している	
4	ストレス	耐ストレス性	ストレスに強い	
5	プレッシャー	耐プレッシャー	プレッシャーに強い	
6				

V. 総合的に配慮・留意すべき課題

見学・体験の振り返りシート

1

リフレーミング(避けたいことばから気持ちのよいことばへ)

避けたいことば	→	(言い換えたい)気持ちのよいことば
あなた	→	あなたさま、お客様
だれ	→	
おれ	→	
うん	→	
ここに	→	
聞いてきます	→	
ちょっと待ってください	→	
いいですか	→	
どうしますか	→	
わかりました	→	
すみませんが	→	
面倒ですが	→	
●●円のお釣りは	→	
わかりません	→	
知りません	→	
できません	→	

2

挨拶の仕方 3種類

会釈は 何度の角度	→	
敬礼は 何度の角度	→	
最敬礼は 何度の角度	→	

3

お客様にあいさつするときのころえ

『語先後礼』 はどんな意味?	→	
-------------------	---	--

授業のちょっと×2ハンドブック Ver1.0

神奈川県立厚木清南高等学校 定時制・通信制 多様な学習を支援する高等学校の推進事業

201704

1. はじめに

厚木清南高校は全日制・定時制・通信制の三課程があるフレキシブルスクールです。平成27(2015)年より3年間、定時制と通信制が文部科学省より、「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」の調査研究事業を委託されています。中でも、生徒の学習における困り感の解消に向けた授業やレポート等のユニバーサルデザイン化を進めています。特に、授業でのユニバーサルデザインの視点を「いつもの授業にちょっとの工夫とちょっとの配慮」(授業のちょっと×2)とし、授業者誰もが取り組むことができる柱としてきました。このハンドブックは、これまでの内容をまとめて見やすくすることで、「ちょっと×2」の取り組みが教職員全体にさらに広がることを願って作成したものです。

2. 本校定時制・通信制の生徒の状況

多様な生徒が在籍 <不登校経験者・発達障害・外国につながる生徒等…>

生徒が社会の中で自立して生きていく力を身に付けられるよう、一人ひとりの教育的ニーズや生徒を取り巻く様々な生活環境等、その背景や変化を踏まえながら、日々の授業を中心とした効果的な指導・支援が大切です。そのために、すべての生徒にとってわかりやすい授業実践(授業のちょっと×2)が求められています。



先生の話を中心して聞けない

定時制は90分で授業を行っており、授業への取組として、見通しを掲示することや生徒の興味関心を引くための工夫が必要です。また、グループワークや作業時間を取り入れるなど、90分授業の構成という視点で取り組んでいくことが求められます。

自分の意見や考えを表現することが苦手

「作文や小論文を書くときに、何をすればよいかわからない」という生徒が多くいます。また、さまざまな学習場面で「先生から具体的に指示されないと、何をすればよいかわからない」という声を聞きます。具体的かつ簡潔な指示、視覚教材を用いた明確な提示によって、生徒の学習活動を促すことが大切です。



ICT を利活用した授業は「面白い」、「わかりやすい」と感じている

ICT を利活用することは、「わかる授業」の実践に繋がります。ICTを取り入れるということだけにとらわれず、「授業のどの場面でICTを取り入れると効果的か」という視点が大切です。

3. いつもの授業にちょっとした工夫とちょっとした配慮（授業編）

① 見通しの提示

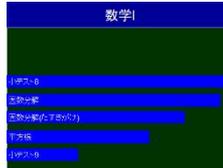
- 視覚的に提示
- 時間の視覚化・構造化

4月24日1校時
現代文探求
新単元1回
担当 山藤

本日の内容

- 読解の方法
- キーワード
- 対比
- 接続語
- 問題に書き込みをする

スライドの工夫

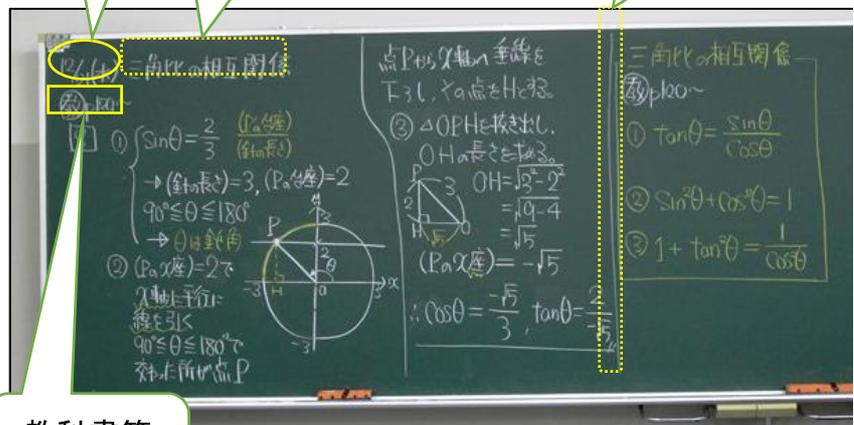


残り時間を棒グラフ化することで、見通しをもちやすくする工夫

日付

タイトル

仕切り線



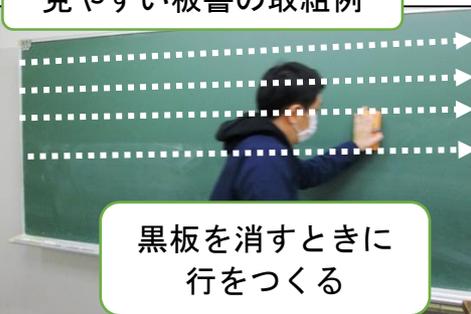
見やすく分かりやすい板書の工夫

各教室配置の「授業サポートカード」を利用した見通しの持てる授業展開の工夫
 今日の日付、目標、テーマ、➡の黒板に貼れる授業サポートカードが各教室に準備されています。

- グループワークや作業時間を取り入れる
 - 90分の使い方の工夫（授業内での30分×3分割等）
- #### ② 具体的に はっきりと 繰り返して ゆっくりと 簡潔に
- すべての生徒に伝わる工夫→指示は言語+視覚的に
 - 板書の工夫→簡潔に整理された見やすい板書
 - 後部座席の生徒でも読み取れる字（字間・大きさ）

情報が多すぎると混乱を生じる生徒もいます。一度にたくさんの指示を与えるより、その都度具体的に指示するとよいでしょう。

見やすい板書の取組例



黒板を消すときに
行をつくる



行があると意識して板書

- 1枚のプリント・スライドの情報量の工夫→文字や図はすっきりと最小限に
- 補助プリントの活用

音声情報だけでは伝わりにくい生徒もいます。
 図表や文字情報、ジェスチャーなど視覚に訴える伝達方法を心がけましょう。

③ **ルビ**
かんじ ふじゆう せいと はいりよ
 漢字が不自由な生徒への配慮

④ **肯定的な表現**
 賞賛や注意のタイミング
 行動直後の評価

⑤ **チョーク・スライドの文字の色**
 黒板ではなるべく赤を使わない。
 見やすい板書→板書の消し方の工夫
 スライドの工夫→文字と背景コントラストの工夫

簡潔で分かりやすい言葉遣いも大切。
 写真やイラスト等も積極的に使いましょう。

「～してはダメ」という否定的な表現より、
 何をして欲しいか、望ましい行動を具体的に
 指示するよう心がけましょう。

板書の際は同時に多くの色(4色以上)を使わないように配慮しましょう。
 例えば・・・

- 文字や記号は「**白**」または「**黄**」を用いる
- 基本的な文字や記号は「**白**」を用いる
- 重要事項を示す文字や記号は「**黄**」を用いる
- 「赤」は文字や記号には用いない。

4. いつもの授業にちょっとした工夫とちょっとした配慮(レポート・添削編)

<レポート編>

- ① **見やすさ、わかりやすさ**
- ② **ていねいさ**
- ③ **学習の便宜**

フォント…丸ゴシック、メイリオ、
 教科書体 Comic suns など

番号を白抜き数字にする。
①、② 等

() ……できるだけ同じ行に収める。

アシスタント(イラスト)でヒントを与えたり解説をしたりする。

「～しましょう」 「～してください」

漢字のまらがいがないように気をつけましょう。記入欄が狭い場合は2行になってもかまいません。 2016 保健1-1

⑥ 教科書 16 ページの生活習慣病についての説明です。次の各文の表す生活習慣病の名前を書きましょう。(a,b,c)

- ① 血液中の糖の濃度が高くなってしまう病気。肥満と運動不足が関係し、失明や腎臓障害、足の壊死や心臓病や脳卒中になりやすくなる。
- ② 正式には悪性新生物という。特徴は、細胞が無制限に増殖すること、転移すること。
- ③ 歯ぐきや歯ぐきの中の骨など、歯を支える組織の病気。進行すると歯がグラグラになり、最後は抜けてしまう。
- ④ 血液中の脂質のうち、中性脂肪や悪玉コレステロールが過剰な状態、あるいは善玉コレステロールが少ない状態。動脈硬化をもたらす。
- ⑤ 冠動脈の硬化がもとになって起こる病気。狭心症や心筋梗塞などがある。
- ⑥ 脳内の血管が破れる脳出血と脳内の血管が詰まって血流が途絶えてしまう脳梗塞などがある。塩分の取りすぎや飲酒が危険要因。

①	②	③	④	⑤	⑥

⑦ 学習書 22 ページからの出題です。食事の重要性を2つ記入しましょう。(a,b,d)

⑧ 教科書 16～19 ページからの出題です。次の文の□に適語を入れましょう。(a,b,c)

- ① 病気の発生を未然に防ぐことを□予防といいます。
- ② 健康診断などで早期発見し、進行する前に早期治療することを□予防といいます。
- ③ 内臓脂肪症候群のことを□といいます。
- ④ 日本人の食塩の1日の摂取目標値は、男性□g、女性□gである。
- ⑤ 栄養摂取を補う健康補助食品のことを□といいます。

⑧の③はカタカナ12文字、⑤はカタカナ6文字です。押しましょう。

<添削編>

- ① **見やすさ、わかりやすさ**
- ② **表現**

④⑦はP153, ⑨はP142の「用語解説」をよく読み16体育(2)-1
 ましょう! 「スルーパス」と「カウンターアタック」と「オーバーラップ」は少しだけ似ている
 かも... 各々の説明を
 サッカーの用語について左の語句にあるものを右の語群から選びましょう。 しっかり読み込んで判断
 しよう!!

① アディショナルタイム (DO)	A 相手チームを積極的に攻めようとする戦術
② クロス (B)	B センターリングともいう。
③ オウンゴール (E)	C 得点に直接結びつくパス。
④ ボランチ (F)	D ロスタイムともいう。
⑤ スクリーン (J)	E 自陣のゴールに誘って失点すること。
⑥ スルーパス (H)	F 守備の態に位置し、実質的に守備線として機能するパス。
⑦ オーバーラップ (G)	G 攻め込まれていたのが一転、素早く相手ゴール前にボールを運び、攻撃する戦術
⑧ アシスト (C)	H ボール保持する選手の背後から前のスペースへつなぐこと。
⑨ カウンターアタック (I)	I ディフェンスの隙を通して、味方を連れ、決定的な状況をつくるパス。
⑩ オフサイドトラップ (A)	J ボールと相手の間に体をいれてボールを保持する。

最初のページの「観戦に
 役立つ専門用語」やP153
 を参考にしよう。

次の図はソフトボールの投手の投球動作である。各々の投球名を答えましょう。
 参考にする本が違っています。学習書のP170をよ。 (学習書参照) abd
 スラッグアウト投手に
 スタウダ投手に

スラッグアウト 投法
 スタウダ 投法

テニスの球種について、次の図にある球種名を記入しましょう。
 (学習書参照) abd

ソフトテニス
 「ソフトテニス」の所を見ましたね。
 「ソフトテニス」ではなくて「テニス」(P207)を参考にしましょう!!
 -22-

読みやすい字を心がける。
 書き誤りには修正液(ホワイト)
 を使用する。

ペン跡が生徒の解答と重ならないよ
 うにする。
 誤答を消させず、残しておく。

ていねいで柔らかい表現
 →「～しましょう」「～してください」
 一点は褒める。励ましのことは、
 指導・助言を入れる。

③ **その他の工夫**

- 誤答箇所とその数を明確にする。(→直す箇所が明確になる)
- レポート返却時に面接時数を記入する。(→受験資格の確認)
- コメント冒頭に日付を入れる。(→提出間隔がわかる)
- 誤答が多い問題には、あらかじめ解説プリントを作成しておき、貼るようになる。

5. 参考文献

- (1) 「すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック実践事例集」(高知県教育委員会)
- (2) 「着任職員の皆様へのご願い」(千葉県立船橋高等学校定時制)
- (3) 平成27年度高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育」研究開発報告書
 (H26~H28) (第二年次) (兵庫県立西宮香風高等学校)



校内ポータルサイト2トップページのをクリックすると、「授業のちょっと×2ポータル」が開き、
 授業のノウハウ等を閲覧することができます。

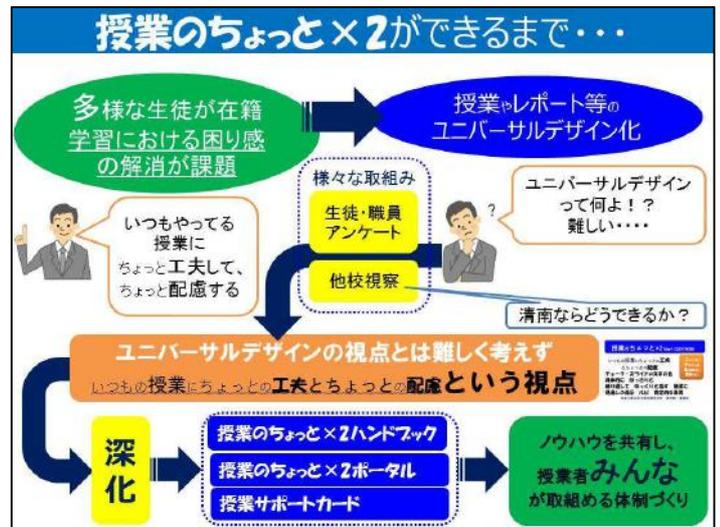
授業のちょっと×2ハンドブック Ver2.0に向けて

神奈川県立厚木清南高等学校 定時制・通信制

多様な学習を支援する高等学校の推進事業

201707

授業でのユニバーサルデザインの視点を「いつもの授業にちょっとの工夫とちょっとの配慮」(授業のちょっと×2)としています。授業者誰もが取り組むことができる柱とし、「ちょっと×2」の取り組みが教職員全体に広がることを願い2017年4月に「授業のちょっと×2ハンドブックVer1.0」を配付しました。これまでの具体的な取組を紹介します。



1 授業のちょっと×2 ハンドブック Ver1.0 について

約8割の職員が「参考になる」と回答



〈職員アンケートより〉

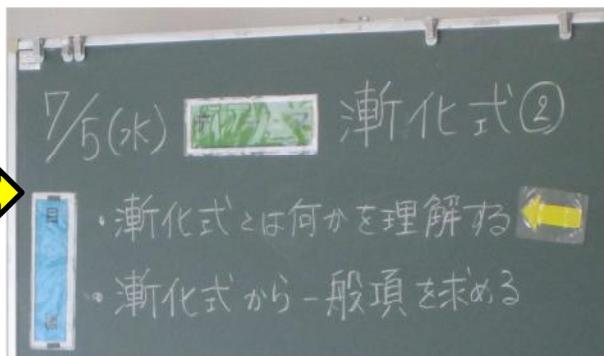
- ヒントになることがあり便利。
- 赴任後の不安を払拭することができ、3か月経った今も指針としている。

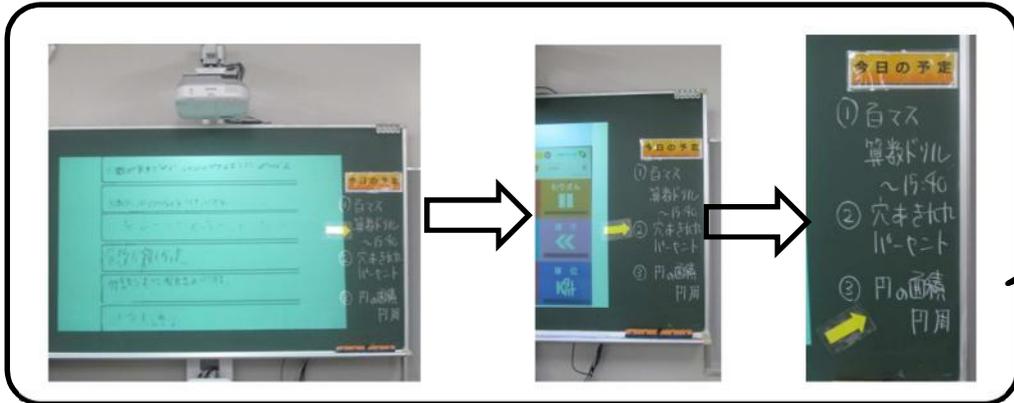
2 授業サポートカードの活用

見通しの持てる授業展開の工夫を図るため、すべての教室に授業サポートカードを配置し、授業者誰もが取り組める体制を整えています。

〈具体的な活用例〉

テーマと目標を示し、➡でどこの部分の内容が明確にする。

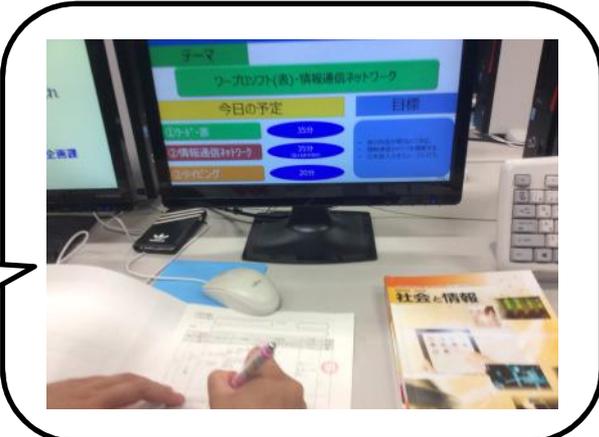




今日の予定を示し、➡でどこの部分の内容が明確にする。

授業の最初に **テーマ**・**目標**を記入させる。
(社会と情報)

回	月/日 (曜日)	テーマ	目標	理解度 (①~④に○印を付けよう)	一言 コメント!	担当 確認
	/			① 理解できた ② 少し理解できた ③ 理解できなかった ④ 全然、理解できなかった		



「数学は苦手ですがいつも授業についていけないが、今何を学習しているか分かりやすい。」などの反応がありました。

<具体的な効果(職員アンケートより)>

- カードに色がついているので、やはり目立ちますよね。その授業でやることが一目瞭然です。矢印もどこを今やっているかを視覚的に表すことができていると思います。
- 板書時間の短縮
板書にかかる時間の短縮
- 「今日の予定」を提示しながら授業を進行することで、現在の進捗を示しやすい。
- 板書にかかる時間の短縮
- 今までスライドで授業の流れを示していたが、スライドを変えると見えなくなる。サポートカードを使って黒板に板書すると、授業中にずっと残るので良い。
- 授業中に、「今何をやっているか」を示しやすく、遅刻して途中から入ってきた生徒にも流れを説明しやすい。
- 授業の最後に、今日はどんなことを学んだか振り返るなど、まとめをしやすい。
- 本時の授業の到達目標を示しているため、終盤の振り返りが明確。
- 生徒に対して見通しをつけさせることができるのと同時に、教員がテーマや目的を意識させることを再確認する意味で、有効かと思えます。
- 今日の予定を示すことで「次に何をやるか」が明確になり、見通しの持てる授業展開ができる。

<今後に向けての課題(職員アンケートより)>

- 多くの人に利用してもらいたいと思います。教卓に入れると目立たないので、箱に入れるなどするといいかないと思います。
- 他の先生方がどのような使い方をしているか、実例を知りたいです。
- どこか使い易いところに置いてあるとよい。教卓の中だとわかりにくいです。
- 教卓の中に入っていることが多いですが、予め黒板に張っておいてもいいのではないのでしょうか。

3 ちょっとの工夫とちょっとの配慮 (波線部がちょっと×2の工夫と配慮)

定時制の新入年次(B17年次)では、毎週月曜日のCom.Tは視聴覚室に集合して年次全体Com.Tを実施している。

<具体的な内容>

毎週月曜日に 年次全体で視聴覚室に集合

学校のルールや今日的課題をO×クイズ等を実施し、理解を深め、「今週の目標」を一言記入

真ん中水曜日に 各HRのCom.T内でコメントを一言記入

週末の金曜日に 各HRのCom.T内でコメントを一言記入



<具体的な効果>

- 年次としてのまとまりや連帯感を生徒と教員が共にもつことができ、全体指導の場として機能している。また、教員からの話も織り交ぜながら、メリハリのある指導・支援を行っている。
- 一週間を一つの区切りとして意識させることで生活にリズムをもたせ、見通しをもち、落ち着いた学校生活を送らせるきっかけとなっている。
- コメントを一言だけ記入させることで、中には同じことを記入する生徒もいるが、日々の生活の振り返りを行うことで、達成感や充実感を味わうことができている。 (記入例参照)

<今後について>

- 残りの前期もこの形態で年次Com.Tの取組みを行い、後期以降も効果的な指導・支援方法を模索していきたい。

O×クイズとコメント記入例(抜粋)

清南 basic O×クイズ! No.7	
日	曜日
次の問にOか×で答えなさい。	
1	5限の授業は17:30から開始される。
2	家庭基礎は必修科目である。
3	芸術科目は、美術、音楽、工芸、書道の中から1科目を必修科目として履修しなければならない。
4	コミュニケーション英語は必修科目でない。

アンケート・感想
 質問のO×を付けて、答えたい日、自分の感想は
 1 よく理解できた 2 理解できた 3 少し理解できた 4 理解できなかった
 感想を書いてください

今週の目標

4月7日(日) 曜日から 4月21日(金) 曜日

今週はちこくなくて、授業にのみ。

真ん中水曜日に一言コメント。

金曜日までがんばる。

一週間を振り返って一言コメント!

よく一週間がはたさと思う。

今週の目標

と

中間テストに向けて

5月29日(日) 曜日から 6月9日(金) 曜日

目標を一言!

中学行っていない分まで家習を兼ねる。

中間テストに向けて一言!

生徒証とよめるに

4 通信制での取組み

通信制は、今年度の授業改善のテーマを「生徒の主体的な学習を促すスクーリング」と題して、授業改善に取り組んでいる。

〈前期授業研究協議の流れ〉

- 2名の職員のスクーリングを見学
- 各教科で「主体性を促す取組」「ユニバーサルデザインの取組」について事前協議
- 教科ごとに発表、全体協議



〈成果と課題〉

- 「授業のちょっと×2ハンドブック ver.1.0」について確認することができた。
- 生徒にとって「分かりやすい授業」「分かりたくなる授業」について、授業の種を知ることができた。
- 教科をこえて、職員全体で取組めるユニバーサルな取組について、意見を交えることができた。
- 解答者として指名されることに抵抗がある生徒、教室の前方の席に座ることに抵抗がある生徒などへの授業参加を促す取組が課題である。

5 今後に向けて

**ユニバーサルデザインの視点とは難しく考えず
いつもの授業にちょっとした工夫とちょっとした配慮という視点**

取 組 み	授業サポートカード	授業ちょっと×2 ポータル (教材共有やICT 利活用紹介例ページ)	授業のちょっと×2 ハンドブック
現 状	サポートカードをすべての授業教室に配置するも、利用率が半数程度	ほとんど活用されていない。	Ver1.0 は肯定的にとらえられている
今 後	<ul style="list-style-type: none"> ● 保管場所の工夫 ● 活用例の共有・紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活用の周知 ● 教材の共有等 	<ul style="list-style-type: none"> ● Ver2.0 に向け、深化させるとともに周知

ノウハウを共有し、授業者みんなが取組める体制づくり